

会員だより



職場の周辺フラリ!

当社の沖縄営業所は、西原町に平成4年に西原作業所として移転・新築され、那覇市にあった営業所と平成16年に統合され現在に至っています。最初に西原町に赴任した時は、近くに店はなくしかも目の前にはお墓がありへんぴなところに来たもんだと思いました。きっと社員が仕事終わりにフラフラと遊びに行かないようにここを選んだのでしょう。私の4回目となる沖縄赴任は、事務所3階にある寮で単身赴任生活を満喫?していますが、社会問題にもなっている沖縄の中高年と同じく体重が増加傾向にあります。そこで、最近が開発著しいマリントウン東浜のあがりティータ公園周辺へのウォーキングを始めました。片道約2500歩、20分程度ですが、往復するので良い運動になります。毎日とは行かないので、効果はまだまだ現れていませんが続けていこうと思います。へんぴなところですが、お近くにおいでの際は、お茶でも飲みにお立ち寄り下さい。

日本道路株式会社 沖縄営業所 所長 梅田 努



日本道路(株)沖縄営業所

事務所前のお墓



あがりティータ公園

ウォーキングコース

会員だより



見れたらラッキー!

1年前の記事と同じく今回も自転車で。沖縄の自転車競技人口が年々増えているように思います。みんな気持ちよく走ってますね。その中に一生懸命走っている人たち、競輪選手がいます。2009年沖縄県総合運動公園にある自転車競技場を改修しました。単なる切削オーバーレイですがカント(勾配)が最大32°、安全帯を付けて作業したのが懐かしいです。バンク舗装のプロ集団が来て、躊躇無く淡々と施工する姿には自分の会社ながら感心しました。その際、沖縄所属のプロ3選手に試走して頂いたのです。選手を間近で見るとは初めてでその足の太さときたら・・・。一度顔を合わせると応援したくなる。沖縄には、所属の選手が10名、純粋な沖縄選手は4名、その他は好きで他県から移住してきている選手です。競輪と聞くと、ギャンブル!と偏見で見られがちですが、選手は違う。スポーツです。みなさん、星のマークのパンツで一生懸命走っている選手を見かけたら「頑張って」と声を掛けて下さい。たまに女子選手も練習に来てますよ。見れたらラッキー!! よそ見して事故らないように。

株式会社 NIPPO 沖縄統括事業所 (兼) 沖縄出張所所長 木下 三基男



競輪場施工風景

活動報告・トピックス



① 「道の駅喜名番所」へ [AED] を寄贈!



喜名番所前での贈呈記念撮影

AEDの贈呈(中央向かって左から石嶺村長、松田区長とスタッフの皆さん、中央右から大濱支部長、田崎幹事長、金城企画・広報副委員長)

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部では AED の贈呈式を、10月10日(木)の午後から読谷村「道の駅喜名番所」で行いました。AED(自動体外式除細動器)の寄贈は、当日本道路建設業協会が、社会・環境貢献活動の一環として、全国の「道の駅」に贈呈を行っているもので、沖縄支部においても平成20年の許田及び豊崎を始め、これまでに5箇所の「道の駅」に寄贈しており今回の喜名番所で6駅となります。贈呈に当たり大濱支部長は「AED設置が地域コミュニティや道路利用者の皆さんにとって安心・安全の確保につながる一助になればと思っている。利用されることはうれしいが、頻繁に利用されることがないよう祈っている」と挨拶しました。贈呈された石嶺傳實村長は「喜名番所は昔から街道筋として由緒ある場所であり、ここにAEDを設置できたことに感謝したい。なるべく利用者は少ない方がよいが、もしもの時の備えとして活用し、適正に管理をしていきたい」と謝辞を述べました。贈呈式の終了後には、同「道の駅」で救急救命講習会が開催され、村内の区長と道の駅のスタッフらが参加し、ニライ消防本部の職員の指導の下、心臓マッサージなど緊急時の対応やAEDの使用方法や注意事項について実践・体験をしました。



② 第86回 道路美化・清掃活動

台風26号が接近、中止に!

10月15日に予定していた第86回道路美化清掃活動は台風26号接近し、天候不良のため中止となりました。

今月の予定

- ① 第3回安全委員会 支部会議室
11月5日(火)11:00 ~ 13:00
- ② 第87回道路美化・清掃活動
後半グループ 11月19日(火)10:00 ~
- ③ 平成25年度第32回道路技術講習会
浦添市産業振興センター 結の街
3F 大研修室 11月21日(木)13:30 ~ 17:00
- ④ 「安心・安全の道づくりを求める全国大会」
東京 支部長参加 11月28日(木)



魂をゆさぶるような 各リーダーたちの言葉!

- 西堀栄三郎(南極越冬隊長、真空管「ソラ」の開発者)

「人材を育てる方法はただ一つ。仕事をさせ成功させることである。成功経験が人を育て、さらに大きな仕事をさせる。」

「火事ぐらいでくじけるな、失敗したら、またやり直せばいい。」

編集室から

N・S

道路清掃ボランティア活動に影響を与えた台風26号は、その後伊豆大島に上陸し、大規模な土石流を発生させ、死者25名行方不明8名という大惨禍を引き起こしました。台風接近である程度の被害は予想されたものの、これほどの被害が身に降りかかるとは、まさに想定外の出来事であったでしょう。最近の自然災害は、猛暑や竜巻、ゲリラ豪雨など、これまでと違って、規模が大きくなると共に何が起きるのか、どこで起きるのか想定しがたい結果をもたらすことが多いように思えます。地球規模の気候変動が起きているのでしょうか。我が国は脆弱な国土であるうえに人口密度が高く、ひとたび災害が起これば、その被害は甚大なものになります。備えあれば憂い無しのとえどおり、先人の教えに従い防災に努めてきたところではありますが、これまでの経験値では計れないような災害が頻繁に見られるようになりました。自民党では「国土強靱化法案」を策定し国土の防災・減災の強化策を打ち出していますが、従来の防災計画よりさらに予測精度の高い地域密着型の計画が必要になると思います。閑話休題、競輪について。「競輪は地域、友人でチームを組んで競技するスポーツです。ほとんどの県に競輪選手がいます。要は住民票を置いているということです。税金も所属県に納めます。選手データも沖縄県となります。もちろん、練習も基本所属県で行います。詳しくは、鹿児島支部沖縄所属が正解です」(NIPPO 木下所長)